

祈りの和

News Letter



巻頭メッセージ

祈りをつなぎ、結ぶこと の大切さ

比嘉良丸

2012年の今年、これまで長年にわたって、いろんなことがささやかれた年でした。その多くは「新しい時代のターニングポイントとなる年」という指摘です。しかしその根拠の多くは、「マヤ暦が終わるから」



「地球がアセンションの時期に入ったから」などと、まるで待っていれば自動的に新たな時代が来るといったものが多いような気がします。しかし果たして自分たちで何もしないでいて、新しい時代はくるのでしょうか？

私を含め、皆さんが期待している「新しい時代」とは、人間が人間同士はもとより、あらゆる生命、自然と調和の中で、平穏・平安・安心・安定の中で暮らしていける時代だろうと思います。そうした新しい時代を切り拓くのは、私ひとり一人の心の在り方、行動、そして社会との

かかわりをおいて他にはないと思います。

2012年の冬至を心待ちにする人の中には、「その時期が来ればどこからか救世主がやってきて救ってくれる」ことを信じている方もいます。私はむしろ、冬至を待つまでもなく、今からすぐに自分で出来る何かを行動に移すべきだと考えています。

新しい時代の到来に向けて、そして現在、地球のあらゆる場所に迫りくる自然の猛威の小難化に向けて、誰もがすぐに行えること——、それが「祈り」ではないのか？

そしてその祈りの力を、多くの皆さんとひとつのエネルギーにしていくことで、変化の場があらこちらにできるのではないかと、私はそう信じて「祈り合わせ」という活動を皆様に呼びかけさせて頂いております。

今年、そして来年がいかなる年になろうとも、少しでも多くの祈りをつなぎ、そして結ぶことで、日本、世界、そして地球には、さらなるより良き新たな時代の訪れが、日々刻々とやってくるのだ、と信じています。

(写真)キルギス共和国にて
祈りを捧げる比嘉良丸・りか



目次

祈りのメッセージ	1
記事のタイトル	2
記事のタイトル	3
記事のタイトル	3
記事のタイトル	4
記事のタイトル	4
記事のタイトル	4

ハイライト

- 特に読者の注意を引きたいポイントを記入します。
- 特に読者の注意を引きたいポイントを記入します。
- 特に読者の注意を引きたいポイントを記入します。
- 特に読者の注意を引きたいポイント